

## 愛媛支部

### 定期総会で災害を考える

4月27日（土）、定期総会を開催しました。会長あいさつでは、災害に対する心構えや今できること、手話言語条例制定への願いなど、伝えたいことが次から次へとあふれ出し、会場も熱い思いに包まれていました。質疑応答では、機関紙の連載記事や会計報告のあり方等について活発に意見が交わされ、参加者の皆さんの熱意を感じました。



午後の記念講演は、昨年度に続き、「目で聴くテレビ」ディレクター兼キャスターの重田千輝さんにお話しいただきました。「取材から見てきたもの～令和6年能登半島地震から～」というテーマで、今年1月の能登地震の後、自宅や避難所でろう者がどんな思いで暮らしているのか、支援する立場としてどんなことが求められるのかなど、実際の写真や映像を見ながら考えました。愛媛も10日前に大きな地震に見舞われたばかりとあって、映し出された映像に愛媛の風景や身近な人たちの姿が重なって見え、他人事ではないと感じました。今後も、災害に対する備えについて機会をとらえて話し合っていきたいと思っております。



### 香・通・研 定期総会

## 香川支部

4月21日（日）、かがわ総合リハビリテーション福祉センターにて定期総会が開催されました。いつもは、聴覚障害者福祉センターで開催していますが、会場が取れずリハセンでの開催となりました。場所のせいだけではないですが、出席者が少なかったのが残念でした。しかし、出席の皆さんは、常任委員からの報告・説明を熱心に聞いてくださり、滞りなく無事総会を終えることができました。

当日は、全通研の50周年記念のグッズ販売をしましたが、とても好評で、中でも人氣が「トートバッグ」です。「かわいい〜♪」「生地がしっかりしている！」と見本を肩にかけたり、手で持ったり・・・盛り上がっていました。

今回の総会は、もう1つ特別なことがありました。それは、常任委員の菊川優加さんが研究誌169号の表紙を飾ることになり、総会の様子の撮影がありました。8月末頃発行予定です。四国の皆さんも楽しみにしていてくださいね。



# あさいと 誌

### (タイトル)



4月21日（日）10時から、第42回とさ通研総会が出席者20名で開催しました。今回は、第7号議案・会則改正での長年功績があったと認められる者を名誉会員とすることを提案し承認されたことが真新しい事です。

名誉会員第1号は機関紙の編集長を20数年担って頂き今年96歳になられるお洒落でダンディな方です。私達役員が憧れ歳を重ねるならばこの方のようにと思える方です。その他の議案も全会一致で承認され、最後に会長から新年度を迎えられたことへの感謝、そして皆で力を合わせて魅力あるとさ通研にしていこうと挨拶があり新しい年が始まりました。

午後からは「道～聴覚障害者の活動そして新しい手話」と題して（社）高知県聴覚障害者協会会長 竹島春美氏の学習会です。26名が集まり読み取り通訳なしなので一心に講師の手話にみっていました。十分読み取れなかったが、そこそこ理解できていた自分を褒めたい等の感想もあり見る言葉を意識できた内容だと思えました。

## 高知支部



### 一人一人の顔が見える組織として

4月21日、徳島県立障がい者交流プラザ研修室で第38回定期総会を開催しました。開会にあたり、徳島県聴覚障害者福祉協会の平会長から、サマーフォーラムinとくしまに対するねぎらいを込めた祝辞をいただきました。

その後、提案した6つの議案について討議を行いました。昨年同様、机を丸く囲むように並べ、参加者の顔が見えるような配置で行いました。今年は役員改選の年で役員の人材不足の課題に直面しましたが、今後について前向きな意見も聞かれ、まさにお互いに支え合って支部活動が成り立っていることを実感しました。

すべての議案が可決され、定期総会が終了しました。会員数こそ少ない徳通研ですが、一人一人の顔が見える組織として会員同士の絆を一層高めるとともに、手話を通じてつながる仲間を会員として



迎えられるよう努力し、充実した1年にしていきたいと思っております。

## 徳島支部